

# 先週への回答



「顔とゆうのは厄介なもんなんだよ」  
 「どう厄介なんですか？」  
 「容貌どおりの中身なら平穩で無事だが、顔と中身が一致しない場合が厄介なんだ」  
 「何が言いたいのか？」  
 「だから、額面どおりの顔なら問題ないが、一万円札の顔をしてて、中身は十円とか五円はよくないと言っとるんだよ」  
 「ニセ札のことですか？」  
 「人間のことでよ。特に人間の女だ」  
 「・・・」  
 「純真無垢な顔で中身も純真無垢なら被害を被る者はいないが、いかにもあどけない顔をしてる魔性の女に近づくなと言っとるんだ」  
 「たとえば？」

「代表的なのが小保方晴子」  
 「なつかしい」  
 「理化学研究所でSTAP細胞とやらを生み出したと、イギリスの科学雑誌『ネイチャー』で世界の注目を集め、割烹着を着て研究室で科学実験しているあのあどけない純真無垢なかわいらしい顔のリケジョ(理工系の女)だ。結局、STAP細胞は存在せず、彼女の工学博士号も取り消しになった。あれはすべてあのあどけない一見純真無垢な顔にだまされたと言ってもケゴンの滝(過言)ではない。あのキューピットのような顔につまづいた犠牲者は理研の副センタ―長だった笹井という人、自殺に追い込まれている」  
 「それは言い過ぎじゃないですか」

「かわいい顔で男を手玉にとるのは、ほかにもいる」  
 「誰ですか？」  
 「大竹しのぶという女優、被害者は寝取られサンマ。あの女優は純真無垢な顔で男を手玉にとること百選錬磨」  
 「それも言い過ぎじゃないですか」  
 「平気で訳知り顔で訳知りなことをほざいている瀬戸内寂聴とか、過激な顔で過激な発言をしている田嶋陽子なんてのは許せる、顔と中身が一致してるから」  
 「すると二人の顔も好きなんですか？」  
 「もちろん好きなのは、純真無垢なかわいらしい顔だ」



# 今週の問題



□の中に漢字を埋めて  
四字熟語を完成させてください。